

福島県PTA連合会会報
第25号_S63.02.20

臨教審の四次にわたる答申に日本の教育にたずさわる方々から、大きな反響があり、更に教育課程審議会からは、戦後四十数年最大ともいえる改革案が示されました。私共PTAと致しまして、道徳教育振興策、学・家・社・連携教育推進の為の新しい活動の一年目であったと考えます。まもなく教育活動の年一年目を振り返ってみる時がまいります。県下三十七万余名の児童生徒の為PTAは何をやってきたのか？、又やるべきなのか、今改めて思います時、やは



県連P会長 阿部真樹

アクティブな活動を 展開した一年

り本当の姿は前記致しました「学・家」連携教育推進以外にならうと思ふのです。

広島市における日PTA会、古川市における東北PTA会、そして、いわき市の県PTA協議会は正にいわき市連P協力による汗と涙の結晶であったと心より感謝致しておるところです。母親リーダーセミナーや、研究会等多くの活動を一年間やってまいりましたが、とどまるどころ家庭の対話、学校との連帯が何よりも重要であります。夫婦、親子が信じあえなくて何

ができましようか。

私共親が、学校、先生を信じなかったらどうなりますか。全てはそこからはじまっているのです。

PTAは地道に息の長い本当に一步一步階段を上るが如くの活動であります。文部省、生徒指導推進会議に参加の機会を頂き、先生方の真剣な討議を拝聴させて頂き、県連Pの本年度の活動を照らし合わせた時、非常にアクティブな活動であったし、その方針に間違いなかったと確信したところです。どこまでも子供と先生を信じて。



福島市黒岩字田部屋53-5
福島県青少年会館内
福島県PTA連合会
発行人 阿部真樹
印刷 泉孔版印刷所
福島市泉字熊野13-1
電話57-1071

おめでとう

文部大臣・日P 東北P会長賞に輝く

去る十一月十三日、菊薫る東京都港区、東京プリンスホテル鳳凰の間に於いて、昭和六十二年度優良PTA、並びに、功労者の表彰式が盛大に挙行された。

文部大臣・日P会長からは、多年に亘りPTA活動に尽力した功績を讃え、表彰状記念品を贈られた。

本県でその栄に輝いた方は次の通り。

◇文部大臣表彰

○団体

福島市立福島第四小学校PTA

郡山市立桜小学校PTA

◇日P会長表彰

○団体

西郷村立羽太小学校PTA

船引町立堀越小学校PTA

○個人

西條 善男

(前県連P会長)



(栄ある表彰者一式場にて)

◇東北P会長感謝状並びに表彰状贈呈

贈呈式は、昭和六十二年九月十八日宮城県古川市総合体育館において開催された東北PTA研究大会古川大会開会式に、

感謝状、並びに、表彰状贈呈式が挙行された。

本県からは、次の団体、個人が贈呈された。

◇感謝状

○団体 福島県PTA連合会

○個人 西條 善男

(前東北P会長)

◇表彰

○団体

原町市立原町第一小学校父母と先生の会

福島市立大森小学校父母と教師の会

会津若松市立鶴城小学校父母と教師の会

いわき市立泉小学校PTA

天栄村立天栄中学校父母と教師の会

○個人

鈴木 弘治

(前二本松一中P会長)

池津 紘堂

(前平一小P会長)

長澤 利枝

(前県連P 理事)

水口 ミキ

(前県連P 理事)

岡崎 英夫

(前県連P事務局長)

関根 千代二

(前福島連P事務局長)

窪小谷 二良

(前郡山連P事務局長)

《福島》

親同志の学習としてのPTA

福島市立福島第四小学校 P T A

十一月十八日、当 P T A が、昭和六十二年度文部大臣賞をいただいた。連綿と続けられてきた活動が、今評価されてのことに違いない。しかし、P T A は活動するためだけに存在するものではない。が、又活動のない P T A もあり得ないであろう。そんな矛盾を抱えながら、児童の健やかな成長を期し、私達親自身の生涯学習の場、もって地域との心通う連帯を培う場とす



(環境整美奉仕)

る、大きな使命にも似た共通意識が、それを乗り越えて纏まろうとしている。そんな姿を報告させていただきます。

(一) 当 P T A 最大行事はバザー。約百万程の益金で教育機器の充実に大きく寄与している。がその成果よりも、バザーを企画、実施していく過程で、多くの親同志の新しい出会いと、親近感、連帯感が生まれ、倍加することの方がはるかに大きな収穫である。それが学年単位での子供を中心とした諸行事をより上げ、又その活動の結束力がバザーにフィードバックされるという好循環をもたらしてくる。しかも学年単位の諸活動はまったく自発的に自主的に運営されその参加率はおそらく 80% を下らないであろう。そんなプロセスの中で、井戸端会議的に、今抱えている諸問題が自然に話し合われ、何んらか

のヒントを参加者の心と与えているだろう。このことは、例えば「非行防止について」等の懇談会をもたなくともその役割をついでに果たしてしまっている。

(二) 二年前に規約改正をし、P T A が地域との関わりを強化し、貢献していく態勢を整えた。結果、理科学習と情操にと、毎日 365 日、小動物の為にえさの確保と野草園の充実と手入等、心暖まる地域の方々からの援助の手が差しのべられたのである。又地域の方々との国道 13 号のクリーン奉仕等、P T A から地域への御手伝い、地域から P T A へのご協力と相互に連携していく輪が広がっている。

まだ沢山の報告したい事項はあるが、こうして全ての活動が円満に運ぶのは、学校側の大きな支えがあつたことであることを最後に記す。

特色ある P T A 活動

《郡山》

地域をあげて健全な発表をめざした活動

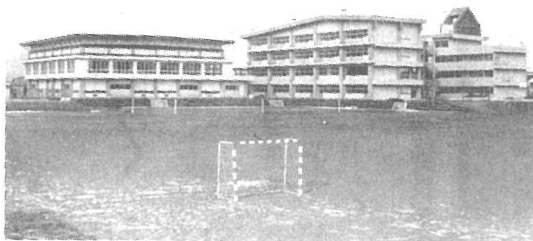
郡山市立富田中学校 P T A

本校は郡山市街地の北部に位置し、西から東へ流れる逢瀬川を南に見おろす丘陵地に建設された学校である。国道四十九号線沿いにあるマンモス校、郡山第六中学校から昭和六十二年四月に分離し、開校二年目の新設校である。

発足当初の生徒数は五百九十九名、普通学級十五、教職員三十一名であったが、一年後で生徒数は六百四十二名という急増地域であり、宅地造成と住宅建設の続く新興住宅地域でもある。

そこで P T A 活動も設立以来、課題を的確にとらえるために、役員を中心に会員の創意工夫を生かすことに努力してきた。特に本校が新設校であるがため、新しい伝統づくりという共通な意識を持つことができた事に基づらした。

会員の連帯感の高揚と結束をはかる機会を数多く持つことができたことも大きな収穫であった。



(62 月 2 月全校舎完成)

校章・校歌・制服・頭髮・通学用カバン等の問題等家庭の共通な話題ができた。親子・夫婦での議論が白熱、対話が増えるという利点が見られた。

また学校での決定事項、生徒の意見、P T A の協議、地域へ呼びかける事柄も明確にすることができた。

学校教育環境、施設設備や備品、教材教具も単年度ではば満たされ、市の尽力に対し地域あげて感謝の念大きく、「開かれた学校」として高く評価され、協力も惜しまなかった。

P T A の広報、研修、厚生、親睦活動のみならず、最も顕著な活動は、生徒の健全育成、非行化防止のための情報交換や通報活動の推進である。夜間パトロールの実施などは特筆されよう。

また生徒の地域参加を推進し、町民運動会、町内奉仕作業の親子参加を呼びかけるなど、子どもの幸福を願い、よりよい住みよい、明るい町と健全な学校づくりに P T A の真の活動と発展をめざしているところである。

《田村》

全会員参加のPTA活動

船引町立堀越小学校PTA

「ハア
朝に夕べに 黒石仰ぎ
祖先築いた この里を
みんな明るく 力を合
わせ
今日への伝え 守ろう
よ
ほんによいとこ
ほんによいとこ
ほりこしは、」

これは、堀越音頭の一
節の歌詞である。

当地区は、船引町の南
西に位置し、鞍掛、黒石
片曾根の三山に囲まれて



(文化祭での全会員によ
る堀越音頭)

いる。全戸数三〇四戸で
小学校児童数一四〇名の
へき地小規模校である。
本校PTAは、「堀越
小学校児童の保護者、教
職員及び校下の本会の目
的に賛同する者で組織」
し全戸が会員に加入して
いる。

全会員の参加活動を目
標にして、各委員会が活
動の中核となって推進し
ている。

(1) 地域文化の振興を図
る活動

○ 地域住民の親睦と教
養を高めることをねらい
とした「文化祭」の開催。
(2) 家庭教育を充実させ
るための活動

○ 家庭教育の充実に役
立てるため「家庭教育学
級への参加」「祖父母学
級」「講演会」の実施。

(3) 学校教育の理解を図
る活動

○ 「授業参観」「学年懇
談会」への積極的な出席。
○ 触れ合いを求めている
児童・親・教師が一体と

なっている「親子球技大会
の実施
○ 健康で安全な学校生
活が営める環境づくりの
ため、年三回の「学校環
境整備作業」の実

施
(4) 子ども育成活
動
○ 子ども育成会
が中心となり、四
部落子ども会の育
成、長期休業中の
子ども会活動の助
成

○ 地区子ども会
独自の活動計画に
よる「親子旅行」
「親子キャンプ」
等の実施

また、会員全員
が、四部落内の教
育環境の整備とい
うことで「通学路
・危険箇所」点検
活動を実施してい
る。

以上が本校PT
A全会員参加の主
な活動である。

このほかにも、
学校行事「田植え」「収
穫感謝祭」へ子ども育成
会が協力援助している。
今後、全会員参加の
活動を進めていく。

特色あるPTA活動

《西白河》

自ら育ち

高め合う会員活動

西郷村立羽太小学校PTA

負傷した鶴の子
がこの地に飛来し、
やがて回復して飛
び立って行ったと
の由来から名づけ
られた羽太地区は、
西郷村の発祥地で
もあり、学校は、
明治八月十二月三
日に開設、以来百
十四年。歴史と伝
統に育くまれ、昭
和二十二年会員相
互の親睦と児童の
健全な育成を主た
る目的で、本会が
創設された。

地区の公民館的
機能を有する学校
を中心に活動が進
められてきたが、
現在では、地区住
民の理解と協力を
得ながら、「自ら
育ち、高め合う会
員活動」を目ざして、次
の委員会活動に、積極的
に取り組んでいる。
(1) 学年委員会：愛の一声
運動、夏休み親子映画会、



員はもちろんのこと、地
区内あげての参加がはか
られ、地域と学校とが一
体となって活動がすすめ
られている。

委員会活動の中で、特
に顕著なのは「ふるさと
交歓会」といえる。こ
の活動は、今年度で四年
目となり、教養委員会の
主たる活動となっている。
その特色として、次の
点があげられる。

① 本校PTAと東京都新
宿区若松地区内の児童と
の手づくりの交歓会であ
ること。

② 行政の援助や指導を受
けず、両地区とも純粋な
社会教育活動であること。

③ 夏は二泊三日で羽太地
区で、冬は一泊二日で若
松地区で民泊し、今年度
で六回実施していること。
都会の子どもたちの生
活や文化に直接ふれ、そ
の違いを会員・児童の両
者とも認識でき、社会性
の向上と育成に役立って
いるので、今後も継続し
て実施していきたい。

二十一世紀を担う子ど
もたちのため、学校とP
TAがさらに連携し合い
充実した活動にしてい
きたいと願っている。

《若松》 子どもを中心に据えた 学年PTA活動

会津若松市立鶴城小学校PTA

本会は会員数七百余名、五専門委員会、各学年委員会、地域活動委員会にて構成されている。

学年PTAは、各学級三名を選出し、学年委員会を構成し企画運営にあたり、ねらいを「子どもを中心に据えた活動と会員の教養向上」を願っている。

各学年委員会の行事名を見ると、「親子○○」という呼び方が多い。そのうちのいくつかについて



(いざトロッコ列車で)

て紹介したい。

一、親子ジョイスポーツ スポーツの秋たけなわの十月に実施した。二年生という学年は学校生活に慣れ、親子がほととずる時期でもある。そこで仕事や家事から離れて親子と子が一心同体となるひとときを持つと計画し実施した。

動物の表現運動などは楽しい中にも、お母さん方から「一週間分の運動をした気分」などの声がとび出すほどかなりの運動量があった。

競争ゲームではお父さん方の力強くスピードのあるパワーを目のあたりにして、子ども達は歓声をあげていた。

二、民話を聞く会

二、三年生は、梁川町より横山幸子先生を迎え「会津の手長・足長」「強清水の由来」等の話を語ってもらった。

会津もめんのもんぺ姿での語りは聞く者をぐい

ぐい昔話の中に引きこんでいった。一話終えるごとに小さい手と大きい手の拍手は体育館いっぱいに鳴りひびいた。

三、親子ハイキン

グ 初夏のさわやかな風を受けJR会津只見線のトロッコ列車に乗りこんだ。日本三大虚空蔵尊の一つである柳津町の福満虚空蔵尊へ、子ども達のすこやかな成長を願い、厄年にあたる六年生の十三講参りをかねた親子ハイキングを行った。

自由参加にもかかわらず二百名をこえる参加者があった。

各学年の活動を終えて、①授業参観では見られない子どもの姿を知ることができた。②同学年の子を持つ親同志のふれあいがあった。③PTA活動がより身近かなものとして感じられた。等の貴重な意見が寄せられた。

特色あるPTA活動

《石川》

会員の連帯を深め 親子のふれあいをめざして

石川町立石川中学校PTA

本校は昭和五十二年四月、五校が統合し石川中学校として発足以来十一年目である。

緑の山々に囲まれ、今出川の清流が流れる恵まれた環境の中に七万平方米余の校地を有し、そこに四階建ての白亜の殿堂が建っている。

その校地には体育館、武道館、セパレートでハコリスとれる四〇〇mトラック、そして専用野球場、七面あるテニスコート、専用プールなど、まさに施設設備が充実している学校である。

昨年度は創立十周年記念事業として、PTAが中心になり、記念誌「うぶすな」を発行し好評を得た。

本校は部活動がさかん



(汗の結晶ビンツの山)

のふれあいを通したPTA活動を推進している。さらに、本校のPTA活動として特筆できることはPTA全会員と生徒会の協力によって行なわれる空ビン回収作業である。PTAの厚生委員会を中心に企画し全校的規模で夏休みに行なわれる。集められる空ビンの本数はおよそ十万本を越え、本年度の収益金は一四〇万円にも達している。その収益金はすべて生徒に還元され、生徒活動費として部活動や学校祭の諸経費等に充てられている。

本校PTAは五つの専門委員会と学年委員会があり、それぞれの専門委員会が中心になって事業が推進されている。教養委員会は会員研修の充実をはかり、家庭教育学級の開催や研修視察旅行、そして本年度で二十七回を迎えた石川地区中学校弁論大会を主催している。広大な校地の草刈り作業は環境整備委員会が年五回実施し、学校環境の美化がはかられている。他の委員会も積極的に活動を推進している。

いわき市立泉小学校PTA

本校PTA活動の主なものを挙げてみると、

(1) 夏休みに行われるP主催の集団宿泊訓練（安達太良登山）の計画と運営で、二百十三名の児童と約五十名の役員が指導と役割分担表により係りを決め、計画・指導・運営



に当たる。第一回目の富士登山から数えて二十回目になる。無線中継車とアマチュア無線を駆使し児童の健康管理、登山状況を本部で確認する。また、登山コースには五か所に伝言連絡板を置き、班ごとの通過時刻、感想、激励文を書かせ、楽しく目標をもって登山できるような配慮。落伍者、怪我人もなく全員山頂を極めて下山、岳温泉に一泊。

(2) 児童の勤労体験的活動への協力は、学校の勤労体験的活動計画を検討し、学年PTAが中心になり、学年の要望により協力している。例として

- 三年のへちま栽培等では堆肥入れとスチールパイプ製へちま棚作り。
- 四年生のじゃが芋・さつま芋栽培ではたね芋の手配、畑起こし、苗植え
- 学年収穫祭の手伝い等。
- 五年生の稲作りでは田起こし、うるち米・もち米苗購入、田植え、稲刈

りの準備と脱穀、収穫祭の餅つきの設営等。
○六年生の菊作りでは堆肥作りの世話から腐葉土肥料、土の混ぜ方、菊苗の植え方の指導。

《双葉》

浪江町立浪江小学校PTA

本校ITTAは、会員相互の教養を高め、教育への理解を深めると共に家庭・社会における児童の健全な育成をはかることを目的として、各専ら

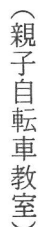
或地区で「あいさつ通り」を設定し、あいさつの良い子を表彰する、という運動を起し、盛り上げていった結果、実効が認められ、今では、町全体の運動にまで発展している。

門委員会、学年委員会、学年委員会で計画し活動の具体化がなされている。

広報活動については、広報委員会担当の「PTA会

の会員どうし、担任教師の相互理解を深め連携を強くするため、親子で一緒にできる行事を、年間二回計画実施している。

家庭では見られない、



わが子の姿にふれ、見直しの場になっている。

次に、紙面の都合で行事名だけ紹介すると、

- 一年
○親子工作
○親子ゲーム大会
二年
○親子リレー・フォー
クダンス
○親子工作
三年
○親子自転車教室
○親子レク
四年
○親子竹馬作り
○親子給食試食会
五年
○親子スポーツ
○親子料理教室
六年
○親子おやつ料理
○親子いも煮会
などである。
- 教養活動の一環として
PTAクラブ活動を実施
しており、五月に希望を
募って組織し、年間を通
して、曜日を決めて活動
し、結果を公開している。
○手芸、○絵画、○書道
○コーラス。
- また、図書室の一角に
PTA図書コーナーを設
けてあり、蔵書数は千六
十三冊に達している。

昭和62年度 テレビ番組等調査 一日Pアンケート調査から

日本PTAは、青少年健全育成の一環として、教育環境の浄化に真剣に取り組んでいるが、テレビ番組に焦点を絞り、昭和61年度に引き続き、今年度も全国都道府県から推薦されたPTA 1,160名のテレビモニターにより、6月と10月と2回、アンケート調査が行われた。今回(10月)の調査の特徴は、児童生徒がテレビを視聴する時間帯に放映される番組について、月曜日から金曜日までと、土曜日・日曜日とに分けてモニターしてもらい、それぞれの中から「好ましい番組」と「好ましくない番組」を選んでもらった。アンケートの内容は、いろいろな角度からなる質問形式によるもので、下記に掲げるものは、総括の一部である。

◇ 「好ましいテレビ番組」 ベスト10

月曜から金曜までの放映番組			土曜と日曜の放映番組		
時間帯 順位	番組名	放送局名	時間帯 順位	番組名	放送局名
1	わくわく動物ランド	TBS	1	独眼竜政宗	NHK
2	なるほどザワールド	フジ	2	まんが日本昔ばなし	TBS
3	ウォッチング	NHK	3	大草原の小さな家	NHK
4	野生の王国	TBS	4	クイズ面白ゼミナール	NHK
5	頑固じいさんと孫3人	NHK	5	世界ふしぎ発見	TBS
6	サザエさん	フジ	6	愛の若草物語	フジ
7	トライアンドトライ	NHK	7	NHK特集	NHK
8	まんが日本昔ばなし	TBS	8	中学生日記	NHK
9	世界まるごとHOWマッチ	TBS	9	サザエさん	フジ
10	アニメ三銃士	NHK	10	ドラマスペシャル	NHK

◎ 好ましい理由

好ましい理由	好ましい理由
1. 安心して子どもに見せることができ、子どもも大人も一緒に楽しめる。	5. 歴史や社会の理解を深めることができる。
2. 命の尊さや人間の優しさ、あたたかさ、思いやりなどを学ぶことができる。	6. 子どもの学習の助けとなる。
3. 子どもの情操が豊かになる。	7. 話題が豊かになる。
4. 解説がわかりやすく、子どもでも理解ができる。	8. 映像がきれいである。
	9. ユーモアに富んでいる。
	10. 出演者に好感がもてる。

◇ 「好ましくないテレビ番組」 ベスト10

月曜から金曜までの放映番組			土曜と日曜の放映番組		
時間帯 順位	番組名	放送局名	時間帯 順位	番組名	放送局名
1	風雲たけし城	TBS	1	おれたちひょうきん族	フジ
2	スケバン刑事	フジ	2	加トちゃんケンちゃん	TBS
3	桃色学園都市宣言	フジ	3	たけしの元気がでるテレビ	日本
4	北斗の拳	フジ	4	所さんのただ者ではない	フジ
5	プロゴルフアー祈子	フジ	5	新婚さんいらっしゃい	朝日
6	元祖ドッキリカメラ	日本	6	土曜ワイド劇場	朝日
7	11PM	日本	7	花の新婚さんコンピューター作戦	関西新広島
8	おひまなら来てよね	フジ	8	ついでにトンチンカン	フジ
9	月曜ドラマランド	フジ	9	こんな学園みたことない	日本
10	三枝の愛ラブ	フジ	10	ハイスクール奇面組	フジ

◎ 好ましくない理由

好ましくない理由	好ましくない理由
1. 番組が下劣である。	7. ひわいな場面が多い。
2. 興味本位である。	8. 出演者に好感がもてない。
3. 言葉が乱暴できたない。	9. 日常の生活に役立たない。
4. 話題や内容が貧困である。	10. 現実の世界とかけはなれている。
5. 人間味が薄い。	
6. 暴力シーンなど残酷な場面が多い。	

 県連P研修委員会の一事業として、母親リーダーとしての資質の向上と、PTA活動のあり方、母親の社会参加を家庭教育の中にどう生かすかについて研究を深め、県内PTA会の交流を深めるため、去る十月・十一月に県内四万部で、講師県教育庁社教主事・和知賢示先生をお迎えして開催された。

△県北方部▽

貴重 な 一 日

蓬萊東小PTA副会長 岩倉啓子

今日一日どうなる事やら……。まわりは知らない顔ばかりで不安が先にたち、緊張気味のセミナー参加でした。

グループに分かれ、いよいよ研修の始まりです。何となく、よそよそしくしてたのもつかの間、自己紹介が終わり、討議が始まる頃には、とてもなごやかに話し合いをし、交流をもつ事が出来ました。

PTA活動という共通の体験をもつ人ばかりなので、話してもすぐわかりあえ、また、様々な学校のPTA活動の様子をうかがう事が出来ました。私達が常にPTA活動を通して、思い悩んでいる事、どのように魅力あるPTAにしたらいかなど、講師の先生からの貴重なアドバイスをいただく事が出来ました。

りたいと思います。

△会津方部▽

間違った生き方をしないで

若松第五中PTA副会長 田部明子

昨年十一月十三日、市

公民館で開催されました

「母親リーダーセミナー」

に参加しまして、とても

有意義な時間をもてたこ

とを嬉しく思いました。

各単Pで活躍している代

表者の体験を通して話合

いや講師によるアドバイ

スは明日からのPTA活

動、家庭教育に役立つ、

考えさせられる内容でし

最近の子ども達は知識

や情報は豊かであるが反

面、仲間がいない、我慢

強さが足りないと言われ

ていますが私もそう思っ

ている一人です。

子どもから大人へと成

長する過程でより人間ら

しく生きる(生きられる)

為にそれぞれの時期(幼

少、青年期)に充分、解

母親セミナーに参加して

△県南方部▽

真剣に学校教育・家庭教育について討議

須賀川市立三中PTA 柴原東和子

県P母親リーダーセミ

ナーに参加して有意義な

時を過ごすことが出来まし

た。講師の和知先生の講

話から始まり、会のカリ

キュラムにそって、私達

母親は真剣に子供達の学

校教育、家庭教育(しっ

け)等について討議致し

ました。そして、母親が

色々なPTA活動や地域

私自身、PTA、地域活

動に微力ながら、いくら

かでも役に立っているの

ではないかと思ひながら

積極的に参加したいと考

えております。輝く二十

一世紀を担う子供達が心

身共に健やかな人間に成

長してほしいと願ひなが

ら、子供の生き方や問題

は自分のものとして、同

次元にとらえ、生きて行

こうと改めて思いました。

決させなければならぬ課題があると思われま。と深く反省させられます。一人の人間として自分の生き方を見つけていってほしいと願っています。

△浜方部▽

手をつなぎ心豊かな活動を

富岡第二中PTA 折原厚子

自然あふれる花と緑の

富岡町で、県PTA母親

リーダーセミナーが開催

され、参加させていただ

きました。「母親の役割

及び家庭教育について考

たと思っています。

全体会では、今私達は

家庭教育をよく見詰め、

自然や人々とのふれ合い

を通して、創造性豊かな

子供を育成しようと言

れ、会議を終えました。

私も子どもの成績だけ

を気にし、いっしょに汗

を流し、親子の意志の疎

通ができていたか、反省

させられました。

皆さんとの再会を約し、

研修成果を単Pにもちか

えり、社会教育参加に努

力したいと思っています。

次に、「会議の進め方、

司会の仕方」の説明があ



(母親リーダーセミナー風景)

習字
最優秀
作品

じこ

あべくひこ

荒井小 一年 阿部 邦彦

けが
わたなべえみ

平二小 二年 渡辺 絵美

んほけ

荒井小 三年 阿部奈央子

加入
小山すずよ

謹教小 四年 小山すず代

第 11 回

子どもの災害事故防止
習字
輝く入賞者決まる

子どもたちにとって、遊びは自然を
理解し、自主性・創造性を培い、社会の
モラルを身につける大事な場であるが、
そこにはいろいろな災害事故がつきま
うのも事実である。これをなくし、子
どもも親も安全についての正しい認識を高
めるという趣旨で、県連 P と県 P 安全
互助会の主催の「子どもの災害事故防止
ポスター・習字」の募集は、今回で第十

一回を迎えた。
ポスターは、参加校 40 校三二二点、習
字は参加校 73 校一、三〇九点の応募があった。
習字は二月九日、ポスターは二月十二
日に慎重厳正に審査が行われ、次のよう
に輝く各賞が決定した。ポスター・習字
とも各学級五名の学校代表作品のため、
力作が揃い、こどもらしい生き生きした
力強い作品が多かった。

習字

【小学校の部】

最優秀賞

阿部 邦彦 (荒井小一年)
渡辺 絵美 (平二小二年)
阿部奈央子 (荒井小三年)
小山すず代 (謹教小四年)
鈴木 千夏 (笹谷小五年)
国分 美穂 (桃見台小六年)
優秀賞
柴原 早苗 (平二小一年)
萩 哲郎 (綴小一年)
ひぐちともあき (謹教小一年)
藤野 孝輔 (荒井小二年)
東海健太郎 (笹谷小二年)
菅野 幸恵 (桃見台小二年)
高橋みゆき (荒井小三年)
今野 友貴 (笹谷小三年)
成田 裕幸 (桃見台小三年)
馬田 和子 (平二小三年)
和田 育子 (謹教小三年)
東海 真美 (笹谷小四年)
阿部 貴仁 (荒井小四年)

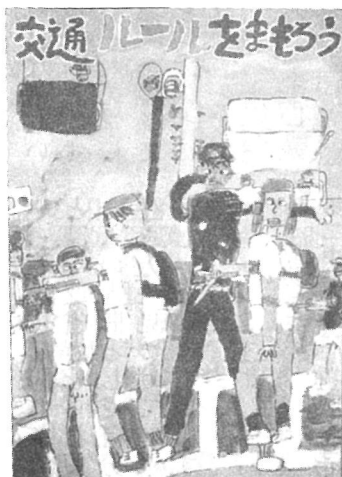
優良賞

高橋 雅貴 (荒井小一年)
天海 美佳 (綴小一年)
やまだひろかつ (桃見台小一年)
しらさかかづこ (塙小一年)
小川 浩美 (綴小二年)
本田香津沙 (荒井小二年)
伊藤さとし (森合小二年)
宮沢 厚志 (東山小二年)
柳沼 幸子 (野田小二年)
藤咲ひとみ (綴小三年)

佳作

鈴木 英輔 (平二小一年)

ポスター最優秀作品



城北小 3 年 山際 裕和



西方小 1 年 五十嵐敏寿

ほしみずほ (城北小一年)
わたなべあゆみ (小高小一年)
大宮 由佳 (綴小一年)
桜井 真一 (荻野小一年)
やち みき (桃見台小一年)
二階堂里美 (水保小一年)
永井 裕子 (東山小一年)
後藤 智史 (野田小一年)
菅谷 有紀 (笹谷小二年)
加藤 晃子 (大波小二年)
鈴木 美香 (油井小二年)
新井田恵美 (柳津小二年)
伊藤 葵 (綴小二年)
斑目 里美 (五箇小二年)
鈴木 秀典 (泉小二年)

坂内 恵利 (尾岐小二年)
渡辺 守 (原小三年)
菊地 智香 (大槻小三年)
阿部 貴史 (荒井小三年)
山神 尚子 (平二小三年)
根本 真妃 (杉妻小三年)
渡部 幸子 (河東小三年)
杉岡 裕二 (山上小三年)
木村奈津子 (荻野小三年)
斎藤 舞子 (森江野小三年)
菅野あすか (二本松小三年)
宗形 明香 (阿武隈小三年)
島 良輔 (綴小三年)
中村 久絵 (千里小三年)
高橋 圭子 (城北小四年)

安全

笠谷小 五年 鈴木 千夏

互助

桃見台小 六年 国分 美穂

障害

鏡石中 一年 大越 綾子

補償

清水中 二年 長尾 美保

補償

白河南部中 三年 菊地 陽子

- 高橋 千春(穂積小四年)
板倉 孝文(太田小四年)
加藤 千晶(大波小四年)
久保木 順子(錦小四年)
伊藤 成子(千里小四年)
吉田 尚子(埴小四年)
橋本 勝(中郷小四年)
草野 敏(綴小四年)
佐藤 美絵(原町二小四年)
井上 智子(奥川小四年)
池田 早苗(八幡小四年)
成田 美穂(東山小四年)
佐藤 正義(桃見台小五年)
矢口 尚子(苅野小五年)
三本 杉昌弥(小名浜西小五年)
松田 瑞(森合小五年)
窪田 好(錦東小五年)
沢井 智絵(東山小五年)
千枝 洋子(八幡小五年)
池上 薫(城北小五年)
櫛田 智美(綴小五年)
鈴木 望(野田小五年)
渡辺 恵美子(杉妻小五年)
林崎 祥美(小高小五年)
佐藤 志保(埴小五年)
佐藤 知則(要田小六年)
日下 千恵(苅野小六年)
神野 咲子(二本松北小六年)
上遠野 三恵(泉小六年)
草野 芳典(三阪小六年)
浅川 喜子(大波小六年)
大竹 真樹(三阪小六年)
小林 勝巳(錦小六年)
赤間 潤一(杉妻小六年)
山田 幸江(安積小六年)
鈴木 尚子(平二小六年)
後藤 知歩(野田小六年)
杉村 有美(森合小六年)

【中学校の部】

- 最優秀賞
大越 綾子(鏡石中一年)
長尾 美保(清水中二年)
菊地 陽子(白河南部中三年)

優秀賞

- 飯島 香織(矢吹中一年)
三橋 真弓(清水中一年)
滝田 富貴枝(鏡石中一年)
佐藤 恵子(磐崎中二年)
松本 典子(矢吹中二年)
佐藤 実希子(磐崎中三年)

優良賞

- 柳沢 潤(磐崎中一年)
佐川 陽子(白河南部中一年)
柳沼 亮(中郷中一年)
小形 克哉(磐崎中二年)
道山 晴美(鏡石中二年)
門馬 文裕(磐崎中三年)
平子 千恵(田人中三年)

佳作

- 緑川 美由紀(田人中一年)
渡部 克己(磐崎中一年)
矢吹 益久(内郷中一年)
佐久間 邦雄(瀬川中一年)
熊田 奈保子(矢吹中二年)
緑川 智則(田人中二年)
上井 ひとみ(磐崎中二年)
今泉 ユカリ(中郷中二年)
柳沼 まゆみ(中郷中三年)
三部 徳子(瀬川中三年)

ポスター

【小学校の部】

最優秀賞

- 五十嵐 敏寿(西方小一年)
渡部 剛史(西方小二年)
山際 裕和(城北小三年)
安斎 雄一(清水小四年)
加藤 薫(金谷川小五年)
遠藤 純子(清水小六年)

優秀賞

- 佐藤 崇弘(八幡小一年)
菅野 由美子(金谷川小二年)
鎌倉 友美(岡山小三年)
尾形 裕子(金谷川小四年)
佐藤 雅一(清水小五年)

優良賞

- 東原 和彦(城北小六年)
北館 賢也(西方小一年)
田中 隆博(中村小二年)
須田 直彦(岡山小三年)
菅野 晴生(金谷川小四年)
三浦 美穂(城北小四年)
白坂 エリナ(清水小六年)

佳作

- 五十嵐 智幸(西方小二年)
大内 剛史(二本松北小三年)
高橋 丞(飯豊小三年)
大槻 忠弘(清水小四年)
後藤 功二(城北小四年)
菅野 由里子(金谷川小四年)
鈴木 理恵(清水小五年)
尾形 諭子(金谷川小五年)
飯田 史恵(清水小五年)
渡辺 憲子(岡山小五年)
山岸 美奈子(清水小六年)
棚木 広(城北小六年)
本田 みゆき(大山小六年)
中城 光浩(八幡小六年)

【中学校の部】

最優秀賞

- 吉田 栄(鏡石中一年)
渡部 俊輔(若松中二年)

優秀賞

- 大越 綾子(鏡石中一年)
常松 久美(鏡石中二年)

優良賞

- 滝田 富貴枝(鏡石中一年)
小野 敦子(磐崎中二年)

佳作

- 藁谷 美江子(鏡石中一年)
清水 亜紀子(若松中一年)
佐藤 伸二(鏡石中一年)
鶴沼 万里子(鏡石中二年)
佐藤 美香(若松中二年)
水野 昌江(鏡石中二年)
島山 晃一(若松中二年)
吉田 直美(鏡石中二年)



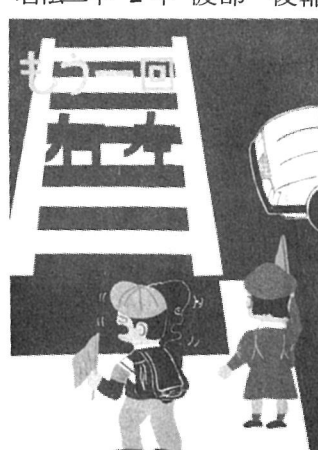
清水小 4年 安斎 雄一



金谷川小 5年 加藤 薫



鏡石中 1年 吉田 栄



若松二中 2年 渡部 俊輔

昭和62年度地区別加入状況と事故件数
(63.1.31現在)

区分 地区	小・中学校別						事故件数		
	小学校		中学校		合計		学童	PTA	合計
	加入 単P数	加入率	加入 単P数	加入率	加入 単P数	加入率			
福島	47(20)	97.9	19②	90.4	66	95.7	316	17	333
達南	13(2)	100.0	3	100.0	16	100.0	32	0	32
伊達	30(11)	100.0	8	100.0	38	100.0	91	22	113
安達	32(12)	97.0	8	66.7	40	88.9	111	12	123
郡山	56(3)	96.6	21	84.0	77	92.8	164	40	204
岩瀬	19(2)	79.2	7	53.8	26	70.3	75	2	77
石川	26(7)	100.0	8②	100.0	34	100.0	62	1	63
田村	37(12)	97.4	13	87.5	50	92.6	102	4	106
西白河	26(8)	96.3	13	92.8	39	95.1	106	5	111
東白川	18(1)	81.8	2	50.0	20	76.9	26	4	30
若松	13	81.3	7	77.8	20	80.0	53	1	54
北会津	16(4)	100.0	6	100.0	22	100.0	29	0	29
両沼	17(6)	94.4	3	27.3	20	66.7	62	5	67
大沼	10(2)	100.0	4	100.0	14	100.0	28	3	31
耶麻	26(1)	78.8	10	71.4	36	81.8	47	1	48
南会津	19	100.0	10	90.9	29	96.7	40	3	43
いわき	51(9)	69.9	29①	69.0	80	69.6	59	16	75
双葉	19(5)	100.0	11①	100.0	30	100.0	84	16	100
相馬	32(16)	100.0	14①	100.0	46	100.0	130	19	149
合計	507(121)	91.0	196⑦	79.7	703	87.5	1,617	171	1,788

()は幼稚園数。なお、分校・養護学校は含まれていない。

県PTA安全互助会だより

加入率87・5%

安全互助会

みんな加入を!

県PTA安全互助会加入については、皆様の御理解と御協力により、年々増加しており、本年度は、県下小中学校数八〇四校中、七〇三校が加入し、八七・五%に達した。地区加入状況をみると、七地区が一〇〇%になり、いよいよ、県下全校加入実現を期待するものである。

県下小中学校数の加入

少額の掛金で、多額の補償を得られる制度を、そして学童は、学校管理下外の傷害補償を、またPTA会員は、安心して積極的に活動に参加してもらうために、創立したこの安全互助会の目的を顧み、私たちの安全互助会として全員加入を願うものである。

昭和六十三年交通安全
福島県スローガン

安全は

ゆっくり ゆったり

ゆとり ゆずりあい

第二十三回県小中学校新聞コンクール入賞校決まる

福島民友新聞社・県PTA連合会主催による県小中学校新聞コンクールは、去る十二月十五日応募締切り、PTA会報・学校新聞の部合せて四百六十八点の新聞が寄せられた。十二月二十五日民友新聞社内での五人の審査員により審査の結果、PTA会報・学校新聞の部合せて二十三点の入賞が決まった。入賞した学校には賞状と楯が贈られた。なお、入賞作品から全国小中学校PTA広報紙コンクールに出品する。

PTA会報の部

最優秀

六華

(三河台小PTA)

富田ひがし

(富田東小PTA)

優秀

PTAだより

(河東三小PTA)

しみず

(清水中PTA)

しらはぎ時報

(謹教小PTA)

こだま

(保原小PTA)

かわかぜ

(城西小PTA)

入選

いずみ

(泉小PTA)

鈴石

(本郷中PTA)

日新

(日新小PTA)

こだま

(高田小PTA)

会報あづま

(吾妻中PTA)

はちのす

(白河二小PTA)

北沢又

(北沢又小PTA)

いさりび

(江名小PTA)

おおえだ

(大枝小PTA)

いちよう

(浅川小PTA)

学校新聞の部

最優秀

学年だより

(醸芳中三年)

優秀

高小だより

(高田小)

須中タイムス

(須釜中生徒会)

入選

学校だより

(河東三小)

しゅかんつきだて

(月館小)

翼

(石川中一ノ一)

編集後記

雪のない正月を迎え、今年は暖冬で水不足かと心配されたが、一月末から二月にかけて、寒波襲来。会津地方、中通り地方は大雪に見舞われた。▼本年最後の県連P会報「ふくしま」第25号をおくりする。▼今号は、なるべく多くの単Pや会員の方に登場してもらうよう、編集に苦心した。意のあるところをくんでいただけたらありがたい。▼このため、短期間に多忙の中をさいて、玉稿をお寄せいただいた方々に心から感謝申しあげる次第である。▼各単Pとも本年度のまとめと反省の時期である。▼冬来たりなば春遠からじ謙虚に本年度をふりかえり、しっかりした来年度の計画を立て、飛躍ある活動となるよう、祈るや切。